



学校運営協議会だより

(コミュニティスクール)

令和4年6月2日

第64回 令和4年度第1回

学校運営協議会(コミュニティスクール)が開かれました!

(神田教育長ごあいさつ)

教育課程の変更、ICT の活用、町で取り組んでいる非認知の取り組みなど、落ち着いた状態の中で、教育活動を行っている。地域のみなさんの協力でともに学校を盛り立てることをお願いしたい。コロナ禍で、なかなか苦勞されている取り組みもある学校教育の現場である。また、来年度から学校でも部活動が地域移行になる計画もある。より一層の地域からご協力のほど、よろしくお願いいたします。

(竹内校長あいさつ)

引き続き勝央中学校の強力な応援団として、ご理解とご協力をお願いいたします。職員の異動もあり、新年度の体制となり2か月経つ。コロナ禍のさまざまな対応があるが、家庭や教育委員会、地域のバックアップをいただきながら、今年度はできるだけ教育活動を止めない方向で考えている。全体としてはいいスタートを切れているが、思春期の子どもたちはさまざまな悩みを抱えながら過ごしている。地域からのさまざまな形での応援をお願いしたい。

(1) 役員改選

役職	氏名	所属・区分
会長	野上 和宏	地域代表
副会長	山本めぐみ	地域代表
副会長	岡本 新吾	地域代表
委員	杉山 昭次	地域代表
委員	植月 一良	地域代表
委員	竹内 健治	地域代表
委員	甲田 敦三	美作大学
委員	宮野 一	勝央町区長会
委員	中藤 勝信	学校支援ボランティア コーディネーター
委員	井上 彰	PTA 会長
委員	草地 絢米	主任児童委員
委員	石川 まゆみ	主任児童委員

・委員が神田教育長から任命され、会長に野上委員さん、副会長に山本委員さんと岡本委員さんが選出されました。



(中藤委員と杉山委員は当日ご欠席でした)



(2) 令和4年度勝央中学校教育計画

竹内校長より、別紙を参考に令和4年度の教育計画が説明された。学校教育目標を実現するために、さまざまな教育活動を進めていく計画の重点取り組みを紹介された。特に、今年度は、2豊かな心の育成(3)自己肯定感・自己有用感の高揚に向けて、学習面では、学習意欲の向上と主体的な学習参加、生活面では、自治的・民主的集団作りを目指して、具体的には、5ページに詳細を書いている内容を説明された。

・会長を含め、委員のみなさんの決議により、承認された。

(3)令和4年度学校運営協議会の活動計画について

野上会長より、資料を元に学校運営協議会の在り方について、校長の提示する学校運営基本方針の承認、学校運営について教育委員会又は学校長に意見を出すこと、教職員の任用に関して意見を出すことなどの学校運営協議会の役割と権限について説明された。立ち上げて11年目になる学校運営協議会も勝央中学校らしさを大切に、学校課題の熟議を中心に取り組みを推進していきたい思いや3ページの規約・2ページの予算・8ページの組織図の改変などの経緯も説明された。学校教育へ参画し、学校課題の熟議、課題の解決に向けて、委員のみなさんの委嘱された権限とともに、参画やご協力をお願いしたい旨やご意見を聞かせてほしい旨が説明された。

(その他ご意見など)

・学校に来ることがほとんどないので、不登校の現状やいじめの現状がわからない。実際に来させてもらい、現状を見て、先生方のお話を聞かせてもらって、自分にできることはないかと取り組んできた。中学校の学校だよりなどを送ってもらえるとありがたい。

・勝央中学校からの学校だよりや、学校運営協議会の便りを、地域の警察や銀行などに配布するなどして、情報を発信してはどうか。

・勝央北小学校のコーディネーターの経験から、学校運営協議会と地域学校協働本部の連携の方法を教えてください。

→連携のやり方については、議題となっている。学校の先生方のご意見を伺いながら、コロナ禍で連携として何ができるのかを模索していきたい。(松尾参事補)

→学校運営協議会と地域学校協働本部との違いについては、昨年度説明させていただいたが、それぞれの立場でできることを、遠慮なく中学校に提案をしていただければと思っている。(神田教育長)

・地域の方からの意見で、朝、中学生の登校の様子として、勝間田小学校の校門の前で見守っていただいている方から、中学生が通学路を守らないということを指摘された。特に南方面から登校する中学生が町役場方面に曲がらないといけない通学路を守っていない生徒がいることをこの場で伝えさせていただきます。

→明日、再度全体で指導をするようにします。今後ご指摘あれば、指導させていただく。(矢嶋生徒指導主事)

【翌日、学校全体で共有し、指導しました。】

・PTA会長の立場からの意見としても自転車通学の様子には課題がある。



(4)天神祭の開催について

お宮の祭りで、中学生が中心となって神輿をかつぐのだが、コロナ禍でマスクの問題などいかがだろうか。皆さんの意見を伺い、後日天神祭りについて検討する場に意見として出したい。(野上会長より)

・地域の感染状況によって、可能な教育活動と検討すべき教育活動が文科省のガイドラインに示されている。近い活動では部活動など、対策をとって十分にできる活動と、控えるべき活動がある。感染防止対策を十分に行った上での実施が可能かどうか、地域の大切な行事なので、慎重にご判断いただければと思います。

・区長会では、参考意見としては、伝統行事でもあり、しても良いのではという意見もあるが、はっきりした意見を出した地域は少ない。

・地域の大切な伝統行事だが、今の状態では、マスクを外して、声を出して、汗だくで神輿をかつぐので、リスクは高く、心配であると伝えさせていただいている。

・大勢の人出となり、リスクは高いのではないかとされる。

・夏休み中の活動とはいえ、部活動は行っている。大会などは、事前に健康状態の対応もあり、慎重なコロナ対応の中で大会参加を迎えている。

【後日、野上会長から今年度の天神祭は中止となったことのご連絡がありました】

その他、協議の後、委員の方お一人おひとりからご意見などをいただきました。長時間にわたり、協議やそれぞれのお立場からの連絡・ご意見などありがとうございました。

○次回開催は6月28日(火)13時40分から5時間目の授業参観と意見交換をする予定です。

